

## 2012 年度事業報告

運営委員会に東日本大震災被災者支援担当を設置。東日本大震災被災者支援チームが事業を担当した。福島県を中心とした被災地の子どもたちを大阪に招くリフレッシュプログラム「大阪わいわいステイプログラム」を8月と3月に実施。各委員会の協力の下、青少年部主催キャンプや大阪観光、子どもコンサート、大阪の家庭でのホームステイ等で5泊6日を過ごし、放射能の影響を心配することなく、野外でもいそいそ遊ぶ機会を提供した。プログラム実施にともない、ワンワールドフェスティバル等を通してボランティアを募集し、トレーニングや事前ワーク、ミーティングを重ね、円滑なプログラム運営に努めた。尚、「大阪わいわいステイプログラム」は、日本YWCA被災者支援事業補助金、赤い羽根ボランティア・NPOサポート募金のほか、多くの方々からの寄付に支えられ実現した。

5月には、震災から一年が経ち関西ではとすれば薄れがちな被災地への思いを新たにしようと、被災地の現状を知り思いを繋ぐ音楽ライブ「stand by you」(会場：雲州堂)を開催した。若手アーティスト4組の協力のもと、音楽を楽しみながら大阪でできる支援を呼びかけ、大阪YWCAの被災者支援活動を若い世代に向けてアピールする機会ともなった。

仙台市内の仮設住宅を中心に活動をしている被災者支援グループ若林ヘルプとは機会があるごとに連携し、仮設住宅住民による手作り品の販売協力や、仮設住宅集会所のお茶会で利用するコーヒー豆の提供を行った。

また、被災地から取り寄せた東北物産の販売は昨年度に引き続き行い、大阪YWCA主催イベントでもブースを設けて「お買い物で被災地支援」を呼びかけた他、大阪駅周辺での街頭募金を実施した。

3・11から2年を迎え、梅田・千里の会館それぞれで「東北に思いを馳せる集い」を持った。梅田では、路井恵美子会員(関西芸術座)による宮澤賢治「よだかの星」の朗読や、YWCAの防災対策、非常食の試食、福島子ども達を招待して行う「大阪わいわいステイプログラム」についての説明を行い、参加者に支援を呼びかけた。

### ◇被災地の子どもたちを対象にしたリフレッシュプログラム

	日程	被災地から参加	ボランティア
大阪わいわいステイプログラム 2012 夏	8/3 (金) ~8/8 (水)	9名	延べ36人
大阪わいわいステイプログラム 2013 春	3/23 (土) ~3/28 (木)	10名	延べ64人

### ◇その他プログラム

	集会日	人数
Stand by you 於：雲州堂	5/27 (日)	40人
ボランティアトレーニング	3/9 (土)	7人
街頭募金 於：大阪駅周辺	3/10 (日)	10人
子どもコンサート 於：シャロン千里	3/27 (水)	38人
仙台市内仮設住宅訪問	3/29 (金)	1人
東北物産販売出店	5/24, 6/2, 6/10, 10/27, 12/1, 2/9	延べ21人

2012 年度公益財団法人大阪 YWCA 事業報告より